



発行者 福井県PTA連合会 会長 田本憲恭 広報委員会
 発行所 〒918-8135 福井市下穴条町14-1 (福井県生活学習館2階) TEL. 0776-41-4253 FAX 0776-41-4333
 HP <http://www.fukui-pta.jp> (公社) 日本PTA全国協議会 <http://www.nippon-pta.or.jp/>
 E-mail mail@fukui-pta.jp

福井県PTA

H28.3
112号



- ★第57回 福井県PTA連合会 研究大会 全体会 2
- ★第57回 福井県PTA連合会 研究大会 分科会 3
- ★「一筆啓上・我が家の三原則」優秀作品発表 4
- ★第71回東海北陸ブロックPTA研究大会 分科会 5
- ★ドクター通信 6
- ★日本PTA全国協議会 表彰式 7
- ★福井県選出国会議員への請願活動報告 7
- ★ブロックよりこんなことやってます 8
- ★編集後記 8

今年、福井県PTA連合会は平成29年度東海北陸ブロックPTA研究大会福井県敦賀大会に向かつて「チーム福井県PTA」一体となり頑張らなければなりません。県内各地全ての会員の皆様のお力添えを頂き大会を大いに盛り上げたいと思います。ご協力のほどよろしくお願致します。そのためにも私たちが福井県PTA連合会は皆様の活動にひとつでもお役に立ち、参加し、子どもたちが安心・安全の生活の中、自信を持ち自分の夢に向かって自立できる環境を作るために、これからは皆様と共に学んでいきたいと考えています。



福井県PTA連合会
会長 田本 憲恭

ご挨拶

去る11月14日第57回福井県PTA連合会研究大会並びに、平成27年度「一筆啓上・我が家の三原則」の表彰式が、県内各地から500名以上の会員の皆様にご登録頂き盛大に開催されましたことを心より感謝申し上げます。今年度も第一分科会(松田子育て委員長を中心)に企画、第二分科会(小林広報委員長を中心)に企画、第三分科会(田辺環境委員長を中心)に企画(情報交換会)、三上総務委員長を中心(企画)すべての分科会・全体会において大いに盛り上がり、各単Pへ多くの物をお持ち帰り頂けたと思います。また、表彰式において会長賞を受賞された森口甚八君、野路侑平君、その他受賞された皆様大変おめでとうございました。皆さんの最高の笑顔が宇佐美委員長を中心に企画・審査・表彰式まで走り切った生涯学習委員会、その他かわつた全てのメンバーに感謝を与えて下さいました。

PTA活動中の事故の防止を。万が一事故が起きたら、一報を。

福井県PTA連合会安全会 ☎ 0776・41・4253

(届出は30日以内)

第57回 全体会

福井県PTA 連合会研究大会

育もう、子どもと共に「感謝」と「勇気」～チェンジ・チャレンジ・コミュニケーションのPTA～

平成27年11月14日(土)ユウ・アイふくい



研究大会を終えて

福井県PTA連合会 総務委員長

三上 顕輝

(あわら市 細呂木小学校)

研究大会を終えて、率直な感想はコミュニケーションがこみこみ合った素晴らしい大会だったということです。本年度の県PTA連合会は各役員及び、各委員それぞれが不安を抱えたスタートでしたが、役員会や各委員会を重ねていくうちに少しずつ形になり、いつの間にか皆が一つの大会に向けて一致団結していました。実際に大会当日は沢山の方々の協力なくしては成功しませんでした。改めてご協力ありがとうございました。

研究大会後に気づいたことですが、第一分科会は過去を振り返り、現状を伝える内容であり、第三分科会・情報交換会はこれからどうして子ども達を守るか、これから先のことを考える内容と、過去・現在、未来へとつながる内容の研究大会だったと思います。研究大会の準備をしていく段階で各委員会が他の委員会のことを考え、行動した結果、知らず知らずのうちにコミュニケーションを取り、それがつととなった形が本年度の研究大会です。

今年の大会テーマではコミュニケーションが大事だと思います。チャレンジもチャレンジも発起するのは自分です。ですが最後のコミュニケーションが抜けると、一人孤立してしまいます。これからも各単位PTAが互いにコミュニケーションをとり、子ども達を支えていきますように。



第57回分科会

福井県PTA 連合会研究大会

育もう、子どもと共に「感謝」と「勇気」～チェンジ・チャレンジ・コミュニケーションのPTA～

平成27年11月14日(土)ユ一・アイふくい

みんなで話そう!!～学カトップの背景に見えるもの～

第1分科会 子育て委員会

子育て委員長

松田 佳代

(大野市 尚徳中学校)



「みんなで話そう!!」学カトップの背景に見えるもの」というテーマで県学校教育政策課主任の多田敏明氏より「ふくいの教育」についての講演をお聞きしました。子どもたちの学カ・体力を支える基盤とは、福井らしさは、また福井型18年教育についても分かりやすくお話しいただき、改めて子どもたちの普段の生活を顧みる機会にもなりました。



講演の後は6グループのグループに分かれ、ワークショップ形式でいろいろな話をグループ内でしていただきました。家庭での学習、地域と学校との連携、そして学校行事についてなど短い時間のなかで様々な意見が出ていたようです。初めて知ったそれぞれのPTAの取り組みもあったのではないのでしょうか。各家庭や各学校で試してみたいと思えるもの、この分科会で見つけてもらえたら嬉しく思います。

そして当分科会の企画・運営に携わりご支援下さった委員、役員の皆様、参加していただいた方々に感謝し深くお礼申し上げます。

東日本大震災被災地の子どもたちの今～防災教育のすすめ～

第2分科会 広報委員会

広報委員長

小林 満只

(鯖江市 立待小学校)



講演後、子どもたちへの防災教育について、防災士ネットフーカさばえ代表岸本直樹氏より、出前講座の事例紹介等をお話しして頂きました。

本大震災支援チームチームふくい代表東角操氏より、現地の写真を見ながら震災当初から今日までのお話を頂き、今も地道な放射能の除染作業は続いており、復興への道は長いけれども子どもたちは一生懸命生きています。しかし、まだまだ支援が必要だということがわかりました。支援のあり方についてアドバイスを頂きましたが、PTAとしてどの様な事が出来るかは、自分達が現地を見て、被災者と直接話し、支援方法を考える事が大切である。是非、まだ終わらない被災地を思いあつていてほしい。助け合い支えあいの大切さを自覚してほしいとメッセージを残されました。

震災から4年半が過ぎ、被災地やそこに生きる子どもたちの現状を知り、PTAとして今後の支援のあり方を考えるヒントになればと、この分科会を開催しました。



かしこいLINEの使い方～保護者入門編

第3分科会 環境委員会

環境委員長

田辺 寛之

(若狭町 三方小学校)



今後、環境委員会では子どもたちの生活環境について研究し、インターネット環境のみならず、薬物問題等さまざまな問題に取り組んでまいります。

LINE講習会については、一切無料であり、各学校へも来ていただけますので、是非子どもと共に受講していただければと思います。



第3分科会では、「かしこいLINEの使い方」保護者入門編」と題し、LINE株式会社から講師を招き講演をしていただきました。

分科会には、約200名の会員の方に参加をいただき、関心の高さを感ずる充実した分科会となりました。

講演では、インターネットに関する知識も大切だが、使う人の意識が最も大切である。」と述べられたことに對し、まさに私たちが自身が子どもと共に、良識ある使い方をしなくてはならないと考えさせられました。

一筆啓上。我が家の三原則

今回もたくさんのご応募ありがとうございました。
ここでは会長賞(2作品)と優秀賞(8作品)を
紹介させていただきます。



会長賞

福井市大東中学校2年 野路 侑平

- 一 ごはんはなるべく家族全員で食べる
- 二 節電をこころがける
- 三 お金の使い方を考える

お母さんへ

お母さんはどういう生き物ですか。僕はつるぎまで元気さかわかるおもしろいお母さんだと思っています。

侑くんへ

その通り!!母の取ゼツは単純です。侑君も一緒に知ってた??自分が楽に笑っていいれる事が一番の幸せだね!



会長賞

敦賀市松原小学校3年 森口 甚八

- 一 肉や魚のいのちを「いただきます」
- 二 米つぶには三千人のかみさまがいる。
- 三 いのちを食べたら「ごちそうさま」

甚八へ

学校から帰ってきて何かあったか聞いても知らん顔なのに寝る前の布団の中でぼつぼつ話してくれるのは何で?

かあちゃんへ

あつたかいふとんで一日あったことや、すなおにこめんなさいを言うてくすりねむれるからかな。



優秀賞

大野市富田小学校1年 山村 ひまり

- 一 げーむはいちいち30ぶん
- 二 じかんはちゃんとまもります
- 三 すすんでしますおてつだい

おかあさんへ

おかあさんすまほのげーむやりすぎにこちゅつー!

ひまりちゃんへ

おともごもも、ちゃんとゲームのじかんはまもらなきやいけなわ。

越前市武生西小学校2年 大友 由奈

- 一 あいさつは、じぶんから。
- 二 なんでもはなきつ、その日のこと。
- 三 できなごことまやつてみまう。

ゆなへ

いつまで、だうできるかなあ。ぎゅつするママも、ふわふわしてくるよ。ママだって明日もがんばるよ。

ママへ

おびの上でのおしゃべり、いつもたのしいよ。ふわふわした気持ちになるんだよね。あしたもがんばるよ。

鯖江市吉川小学校3年 河合 太一

- 一 自分から「あいさつ」をする。
- 二 人の話をしっかり聞く。
- 三 考えて行動する。

太一へ

太一の笑顔は最高ですが、時には真剣な顔も見たいです。太一のやる気スイッチは、一体どこにあるの?

お母さんへ

ぼくのやる気スイッチは、絵をかく時に入ります。べん強の時は、あまり入りません。今ど、入れてみます!!

鯖江市河和田小学校4年 内田 莉子

- 一 相手の気持ちを考えて、ありがとう。
- 二 つ、ごめんなさいを言う。
- 三 一回一回以上笑う。
- 三 一回一回みんなでキュー(だきしめる)をする。

ママへ

一回一回キューをするの、あー、家族だなーって感じるよね。ママは、ほかにどんな時にそう思う?

リンへ

家族四人そろってご飯を食べる時かな。学校の出来事やパパの面白い話で盛り上がる我が家の食卓は最高だよ。

家族のみなへ

- 一 一回一回笑ってる、家族みんなが笑った回数を足すと何回になるかな?
- 二 でも、怒ったらマイナス一回だよ。

たいまへ

お母さんは毎日怒ってばかりだから、せつこ以下だね。大笑いしたら、ポイント五倍はでっつ!

お母さんへ

- 一 忘れちゃいけない 感謝の言葉
- 二 心のどこかに おもいやり
- 三 LINEじゃないよ!顔を合わせて話をしよう。家族のみなで。

お母さんへ

お弁当袋の中や深夜の勉強机の上に小さく折った母からの手紙に元気がでます。今では何気に楽しんでいます。

葉月へ

母の胸の内は小さい紙には書ききれ

ません。だくと必ず書く言葉は「頑張れ」で「大丈夫だよ」です。

あわら市金津中学校2年 下野 尚輝

- 一 何事も自分でする
- 二 毎日あいさつする
- 三 毎日仏壇におまいりする

尚輝へ

仏壇に毎日手を合わせ頭を下げるあなたの姿に、お母さんは頭が下がります。

お母さんへ

仏壇に参ることの大切さを教えてくれたお母さんありがとう。

越前市武生第三中学校3年 荒井 咲栄

- 一 健康第一 寝る時間は削るべからず
- 二 心は姿勢に表れる
- 三 時間は平等にあり やるかやらないか言い訳なし
- 三 人に勝つのではなく自分に勝つ

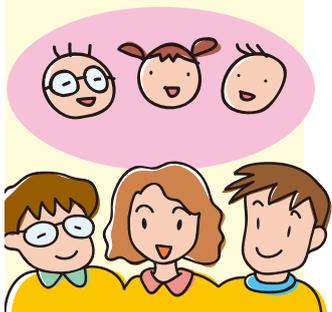
咲栄へ

心の持ち方を大切に。言いたい事はいつばいあるけど、毎日の積み重ねだよ。お母はいつも通り見守ります。

お母さんへ

色々考えてくれたり、困った時にアドバイスをくれたりする優しいお母さんは私の自慢だよ。大好き、有難う。

お母さんへ



第71回 東海北陸ブロックPTA研究大会

石川県・小松大会

「智・仁・勇」の心から始まる未来への物語

第1分科会(家庭教育A)

子どもの未来は家庭の絆から

福井県PTA連合会

広報副委員長

白崎

芳彦(丸岡町磯部小学校)

第1分科会では、『親子がともに学び合える家庭環境をどう構築していくか』を分科会課題として、輪之内町立輪之内中学校PTAでは『見直そう！家庭の力』親子で決めて、親子で実践、『野々市市立御園小学校PTAでは『親子でともに学ぶ家庭教育』地域の題材や特色を活かして』をテーマで実践発表がありました。

共に学び成長する『共育』、親子・地域・学校が協力して、子どもを育てていく『協育』という言葉を取り上げていました。『共育』では親と共に考え、共に楽しみ、共に成長し、家庭教育の向上につながるように、『協育』では学校を通して地域の子どもたちは地域で育てていけるように実践されており、改めてPTCAの重要さを再認識させられました。

第2部のパネルディスカッションでは家庭教育の低下が著しい現代の中で、パネリストの実践を踏まえた貴重なお話や会場の参加者のご意見を交えた討議で大変有意義な時間となりました。



第2分科会(家庭教育B)

地域で学ぶことの大切さを家庭でどう伝えていくか

福井県PTA連合会 副会長

結川

孝利(勝山市村岡小学校)

近年の社会環境の変化により、地域の教育力が低下しているという指摘がありました。地域の教育力というのは、子ども達が先生・親以外の大人とかかわる機会を持つということとです。私達がこの機会を作れるよう積極的に仕掛けていくことが、子どもたちが地域で学ぶ環境を作っていく上で重要であると感じました。



また、親も子も一緒になって地域に関わっていくことが、子どもたちを豊かな人間に育てるための第一歩であると感じました。



第4分科会(学校支援B)

学校と地域と家庭の連携

福井県PTA連合会 環境委員長

田辺

寛之(若狭町三方小学校)

少子高齢化社会によりさまざまな問題が危惧されている中、祖父母との関わりを大切にしながらのPTA活動は、子どもたちの成長と共に、これからの学校支援において大変重要ではないでしょうか。子どもたちが祖父母との関わりから感じる少しのことから、地域の

伝統を感じ、地域を想う心を持ち、地域と共に成長することが、心豊かな子どもたちの成長であり、まさに学校と地域と家庭の連携による子育ての継承だと考えます。



第5分科会(地域連携A)

学校規模によって違う地域との連携

福井県PTA連合会 広報委員

松永

剛(坂井市兵庫小学校)

第5分科会では、本県より南条中学校PTAの皆さんが、『花はす早朝マラソン大会』でのボランティア活動の募集からその後の反響、それによる成果と今後の課題などを中規模校の例として大変分かりやすく発表されました。中学生の学校生活のモチベーションにボランティア活動がこんなにも密接に関係しているとは驚きもありました。

もう一校小規模校の例として、珠洲市立西部小学校の発表は、塩田での塩作りや地域のプロから様々な本物を学ぶ授業など、小学生達がたいへん楽しそうに地域と交わっている様子を発表されました。朝ドラの口ケ地の話ということもあり、大変興味深く聞くことができました。

その後、元大規模小学校の校長を交えてのパネルディスカッションも盛り上がり大変有意義な分科会に参加することができました。



日本PTA全国協議会 表彰式 日本PTAの強い絆を 感じた表彰式典

福井県PTA連合会 副会長 佐々木 敦子
(福井大学附属中学校)

平成27年11月19日ホテルニューオータニにて、27年度PTA年次表彰式が文部科学大臣馳浩様をはじめ多数のご来賓をお迎えし盛大に開催されました。馳大臣から、地域学校で活躍するPTAの皆様を敬意をもって応援していくと温かい言葉をいただきました。そして、日本PTAが最前線で活動し、単位PTAだけでは出来ないことを郡市町村PTAが力を合わせて実現していく。そして行政に要請する時は、都道府県PTAが声を集めて要請することが出来る。一人一人の力は小さいけれど日本PTA1000万人の会員の絆が子どもたちを支えていると力強い辞をいただきました。改めてPTAの役割、意義を確認し、子どもたちの教育環境を良くしていくために、全国のPTAがしっかりと連携し、繋がっていくことが大切だと感じた表彰式式典でした。
そして、長年のご功労表彰、並びに広報紙コンクール受賞の皆様、おめでとうございました。心からお祝いを申し上げます。

福井県PTA関係の受賞者のみなさま

文部科学大臣表彰

(団体)

勝山市立成器西小学校PTA
越前市南越中学校PTA

日本PTA会長表彰

(団体)

越前市吉野小学校教育振興会
坂井市立春江中学校PTA

(個人)

増田 秀勝 圓道 忠雄 野瀬 博経
石川 浩

広報紙コンクール表彰

(団体)

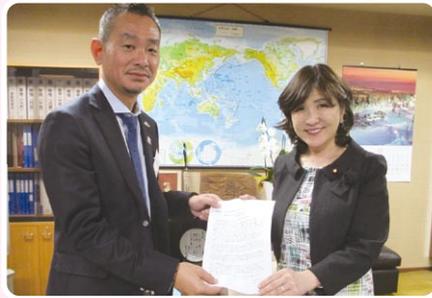
越前市南越中学校PTA
坂井市立丸岡中学校PTA
福井市木田小学校PTA

(敬称略)



福井県選出国会議員への請願活動

福井県PTA連合会 教育問題特別委員会 委員長 高畑 徹
(敦賀市 角鹿中学校)



本年度の国会請願活動は、11月20日(金)に行いました。

陳情の内容は、子どもたちが健やかに成長していくために正規の養護教諭や栄養教諭の増配置、教員が子どもたちと向き合う十分な時間が確保できるよう正規の事務職員の増配置、全ての子どもたちを温かく受け入れ、支援を必要とする子どもたちに行き届いた教育を保証するため、通級指導担当教員や特別支援非常勤講師の増配置、そして学校図書館活用教育、国際理解教育、サイエンス教育など多様な教育を行なえるよう、専門的な人材配置等についてお願いしました。

本年度は、福井県選出の衆参両院の議員の皆様、



ネットモラル研修会を開催いたしました 平成28年2月28日(日)敦賀プラザ萬象

福井県PTA連合会 環境委員長 田辺 寛之(若狭町三方小学校)

2月28日(日)・敦賀プラザ萬象において、ネットモラル研修会を開催いたしました。

講師に、佛教大学 教育学部 原 清治 教授をお招きし、「ネット社会と子どもたちの実態」と題し講演をいただきました。現在において欠かすことのできないインターネット環境が、子どもたちにとってどのような影響をもたらしているのか、大変参考となる講演となりました。

講演では、最近の大学生は片手にスマートフォン、仕切りのあるテーブル、いわゆる「ぼっち席」で独り食事をするということが、ぼっち席がある学生食堂の大学が人気だということ。学生達の友達はスマートフォンであるかのような実態に寂しさを感じるとともに、人と人との繋がり、コミュニケーションの大切さなど、福井県の子どもたちはどう伝えるべきかを考えさせられました。

全国トップクラスの学力を持つ福井県の子どもたち、ぼっち席ではなく、多くの仲間とともに、人として温かい思いやり、の心を兼ね備えた子どもとして成長することを願います。



こんなことやってます

先輩達が築いてきた活動

丹南ブロック

今在中学校PTA

南越前町今庄中学校PTAでは、長年継続されている学年活動があります。

1年生は「学校周辺日野川河川敷草刈り」、2年生は「校内花壇・植木の雪囲い」、3年生は「学校林整備(下刈り)」を行っています。いずれの活動も、生徒と保護者が一体となり、ほぼ全員の参加の中、実施されています。特に、3年生が行っている学校林整備は、20年以上続いている活動です。森林組合の協力を頂き、杉の間伐や枝打ちの体験を通して、親子で森林と私達の生活のつながりについて、学習をしています。また、2年生が行っている校内の雪囲い作業では、杭の打ち方や、縄の結び方を保護者から教わり、学校生活ではできない貴重な体験をしています。

今後、先輩達が長年継続してきた、今庄ならではの活動の意義を考ながら、後輩へ引き継いでいきたいと思います。



丸岡南中学校PTA活動について

坂井ブロック

丸岡南中学校PTA

丸岡南中学校PTAは、地域を「コミュニティ」としてとらえ、地域に開かれ、地域に根付いた活動を行っています。

毎年8月上旬の週末に開催している夕涼み会は、地域の方々に本校を開放し、学校自体や生徒たちの教育環境を知っていただくこと、様々なイベントを通して学校に親しんでもらうことを目的として、開校当初から毎年多くの地域の方に参加していただいています。夕涼み会では楽しいひとときを過ごしてもらおうと、食品バザーを行っており、4月当初からPTA執行委員である総務委員会・学級委員会・育成委員会・地域環境委員会・広報委員会の5つの委員会それぞれ役割を分担し、会議を重ねて企画・準備し、当日の運営を行っています。食品バザーを通して保護者と教職員、地域の方々が一体となって笑顔で触れ合うことができる時間となっています。また吹奏楽部の演奏や茶道部のお茶会、美術部のアートパフォーマンスの企画もあり、本校の文化部の生徒にとっては地域の方々に日頃の練習の成果をお披露目する場となっています。生徒たちはたくさんの方々から拍手をいただくことで、次も頑張つてやっつけていきたいという生徒のやる気の喚起にもつながっています。

今後、地域に根ざした魅力的な活動を考え、役員全員が子どもたちのために、地域のために、学校のために思いを1つに全力で取り組んでいきます。



「あけぼの運動」の集大成

奥越ブロック

鹿谷小学校PTA

勝山市で毎年お盆に開催される「かちやまワッショイ」でのヨサコイ演舞に、鹿谷小学校全校児童(約90名)が14年連続で参加しています。

このイベントへの参加は、鹿谷小学校校区内の全町民が心待ちにし、応援してくれる大きな活動となっています。

毎年演舞にテーマを持たせ振り付けや指導してくださる先生方、ボランティアで子どもたちのヘアメイクや荷物運びに協力してくださる保護者のみなさん、児童の演舞を大きな声で応援してくださる大勢の町民の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

鹿谷小学校・鹿谷小学校PTAが目指す(学校・保護者・地域で子どもを育てる)をスローガンとする「あけぼの運動」の集大成と言える行事です。

児童が声を掛け合い動きを合わせ、笑顔いっぱい自己表現できるこの素晴らしい活動は今後も続けていきたいと思っています。



編集後記

今年の冬は降雪が少なく、とても穏やかで過ごしやすかったですね。とは言っても少しは降らないと雪国の一員としては手放して喜べないところもありますね。
今年度も県PTA連合会は、田本会長の下、色々な取り組みをさせて頂きました。私も広報委員長の立場から色々な人たちや研修会など、出会い勉強をさせて頂きとても感謝しています。皆様のお力をお借りしながら、お陰様で無事広報紙112号を今回発行することも出来ました。一年間本当にありがとうございました。
H29年度には東海北陸ブロック研究大会(福井県敦賀大会)が行われます。これから約2年間、皆で力を合わせて敦賀大会を盛り上げていきましょう。
広報委員会 委員長 小林 満只